

技術士とは

技術士は、技術士法によって科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められた技術者で、科学技術の応用面に携わる技術者の資格です。さらに技術士は法により高い技術者倫理を備え、公益を保護し、継続的な資質向上に努めることが責務になっています。

技術士は、科学技術に基づいた高度な専門知識と応用能力を活かし、様々な要求に応じて社会貢献活動を行っています。

日本技術士会とは

公益社団法人日本技術士会は、技術士制度の普及、啓発を図ることを目的とし、技術士法に規定されたわが国で唯一の技術士による法人です。日本技術士会は、設立目的に沿って、社会が求める安全・安心な生活の実現を達成するため、科学技術を通して社会貢献活動を行っています。

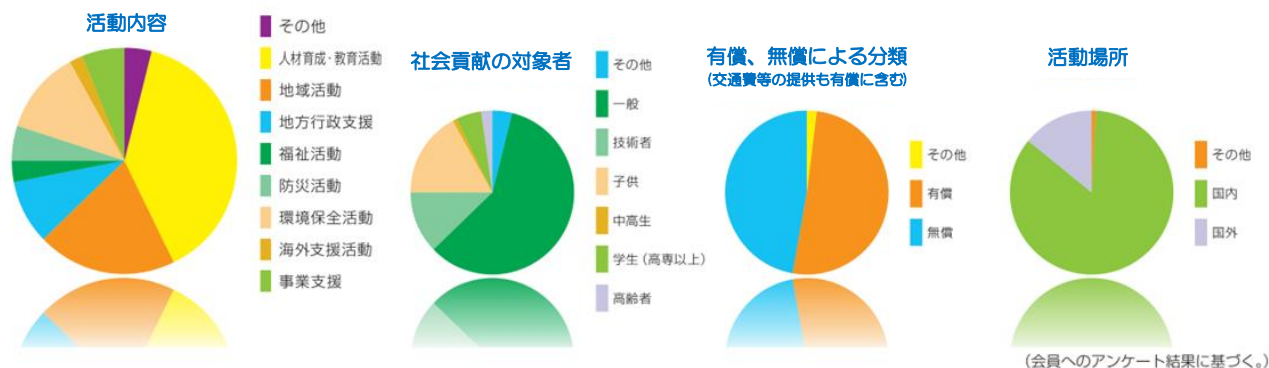
技術士の部門

技術士には21の技術部門があり、技術士はそれらの部門の専門家です。各部門毎に、日本技術士会の会員は専門技術部会を構成して、講演会や見学会、研修活動を通して技術力の向上に取り組んでいます。

技術部門：機械、船舶・海洋、航空・宇宙、電気電子、化学、繊維、金属、資源工学、建設、上下水道、衛生工学、農業、森林、水産、経営工学、情報工学、応用理学、生物工学、環境、原子力・放射線、及び総合技術監理の21部門

技術士の社会貢献

技術士は、個人、所属組織、日本技術士会を通してなど、さまざまな社会貢献活動を行っています。



Professional Engineer

技術士と 日本技術士会の 社会貢献

私たちは科学技術で
社会に貢献します

日本技術士会の会員はさまざまな場面で専門性を活かして社会貢献活動を行っています。

社会委員会

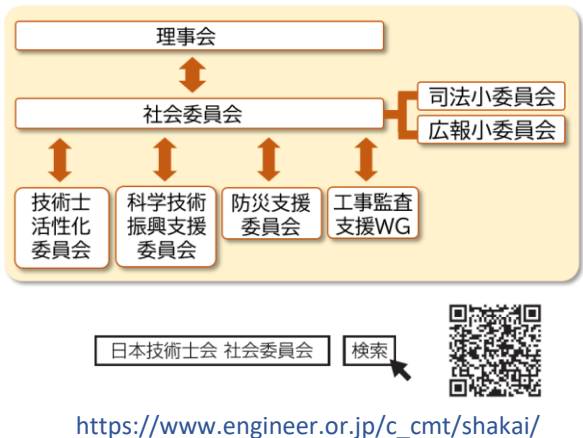
本委員会は、日本技術士会及び会員技術士の「社会的貢献的事業の企画・実施・支援」を行い、「技術士」及び「日本技術士会」の活動の場を広げています。

- 1. 会員の社会貢献の支援
- 2. 日本技術士会への社会貢献活動依頼に対する対応
- 3. 会員及び日本技術士会の社会貢献活動の普及広報

社会委員会の主な活動

- ① 裁判所、行政機関からの依頼事項に対する協力
- ② 本会会員の社会貢献活動の把握と情報発信
- ③ 公共事業に関わる工事技術を対象として工事監査を適正に行うための専門技術を活用した支援活動
- ④ 行政機関との防災・減災協定に基づく地域住民とのコミュニケーション活動、国や自治体等が主催する震災対策展示会等への参画等
- ⑤ サイエンスカフェ及び理科支援活動等を通じた科学技術振興支援の推進
- ⑥ 本会が組織的に取り組むべき社会貢献活動の実現へ向けた提言、本会の社会貢献活動に関する要請への対応など

委員会の活動の詳細は、ホームページをご覧ください。



https://www.engineer.or.jp/c_cmt/shakai/

1. 司法支援活動

司法支援小委員会

近年技術に関係した裁判事例(専門訴訟)が増加しており、専門家による訴訟手続きへの協力が要望されています。日本技術士会では、最高裁判所との協議を通して、技術士が司法支援を行うための体制を作っています。司法支援活動を希望する正会員(司法支援技術士)を事前登録すると共に、各裁判所からの鑑定人、専門委員、査証人、または調停委員の推薦依頼に対し、原則として司法支援技術士の中から適任者を選定し、推薦します。また、本体制の周知、普及のための講習会を行っています。

2. 社会活動事例発表会

広報小委員会

技術士による社会活動事例・成果の発表を通して、その情報共有の場を提供し、技術士の社会貢献の推進に寄与することを目指しています。

第13回社会活動事例発表会(2024/5/31)

- (1)「士(さむらい)おおいた」の発足とその活動
- (2)小中学校への出前授業 ～土木の魅力と防災教育～
- (3)こどもの理数教育を考える ―学習支援ボランティアを通して―
- (4)住民参加型の山地強靱化の試み
- (5)林業を学ぶ学生へ、地質学の野外巡検の講師
- (6)女性むけ懇話会「技術サロン」を起点にした、女性技術者のキャリアのパイプライン形成支援
- (7)日本技術士会におけるダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン(DE&I)の啓発活動について
- (8)技術士として男女共同参画を考える～技術士会の発表の場における意識醸成活動～
- (9)総合討論

3. 工事監査支援活動

工事監査支援WG

公共事業に関わる工事監査において、専門的な技術を要する技術調査を適正に行うために、正会員の専門技術を活用し、地方自治体の行政支援活動を行っています。また、工事監査を具体的に進めるための支援、行政における専門職の方々に対する専門教育支援など広く工事監査に係る諸問題への対応に関しての活動にも取り組んでいます。

工事監査のための技術調査にご協力いただける建築系、土木系、設備系等の技術士の参加をお待ちしております。工事監査のための技術調査に向けては、未経験者のために研修も行っています。

4. 防災支援活動

防災支援委員会

災害時の被害を軽減し早期立ち直りを支援するため、平時から防災・減災技術の普及と会員の能力向上に取り組んでいます。具体的には、防災知識集を公開すると共に、地域コミュニティの防災活動支援、減災まち歩き点検や防災支援出前講座、防災訓練への協力、防災イベント(主に子供を対象とした防災クイズ・ゲーム)、「ぼうさいこくたい」など技術展示会参加を支援しています。さらに多くの土業と連携することにより、災害時の幅広い活動を実施できるようにしています。

大規模自然災害発生時には、会員データベースを活用し早期復旧・復興の技術的支援を目的とする災害復興支援プラットフォームの設置・運営などの防災支援活動を行っています。



防災まち歩き点検



防災イベント(クイズラリー)

5. 科学技術支援活動

科学技術振興支援委員会

会員が行う理科教室、科学技術系イベント活動等への支援、こども霞が関見学デー、サイエンスアゴラへの参画、「理科教育用教材等事例集」の充実等により、科学技術振興支援活動を行っています。



サイエンスアゴラでの活動

6. 技術士活性化支援活動

技術士活性化委員会

技術士が活動していく上で、また地域産業を活性化する上で、少しでもお役に立つような、研修会や各種支援活動(外部業務依頼紹介、技術士報酬調査、技術コンサルタントガイドブックなど)を行っています。

主な事項は

- (1)地域産業の活性化に関する国等の施策の調査・報告及び支援、協力
- (2)会員の地域産業支援事例、報酬等の調査・報告
- (3)会員の開業及び地域産業支援能力向上に向けた研修等の企画・運営
- (4)技術士業務に関する外部からの依頼への対応

私たちは科学技術で 社会に貢献します